

I 住民サービスの向上

1 サービス基盤の構築

進捗状況 A：目標を上回る B：目標どおり C：目標にやや遅れる D：目標に遅れる

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度		スケジュール					5年間の総括	
				取組内容、到達目標（数値目標）	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年			
111	窓口サービスの向上	税務課	① 先進自治体の調査・研究	先進自治体からの意見聴取を行い、業務改善について研究を行う。また、公平公正な住民対応を行うため、他自治体と緊密な連携を取り、引き続き情報交換に努める。	調査・研究			実施				先進自治体のオンライン研修・現地研修・窓口体験調査に参加することで、業務改革についての研究を行った。それにより、近隣だけではなく全国の自治体と情報交換ができる関係を構築することができ、最終的には自庁でも窓口BPRを実施し、全庁的に課題を共有することで、窓口サービスの向上に寄与した
			進捗状況	B	効果額	-						
			令和7年									
		② 各業務の総点検	窓口BPRにより業務改革の研究を進め、各業務の総点検を実施する。				実施					証明書様式の見直しや、業務のICT化を検討し、業務改善に取り組んできたが、日常的に総点検を実施することは難しかった。しかし、最終的にはチームで窓口BPRを実施することで第三者視点で課題を発見し、検討する機会を得られたため、業務改革の研究が進められた。今後も継続的にBPRを実施し、総点検に取り組むたいと考える
進捗状況	B	効果額	-									
令和7年												
③ 様式変更・運用方法の改善	運用方法について、窓口BPRや窓口体験調査の結果を踏まえたものに変更を検討する。また、窓口対応マニュアルや様式についても、前述の調査等の結果を反映し、改善していく。	検討			実施						従来の様式から不要な項目の削除及び用紙サイズを変更する等、分かりやすくかつ記入しやすい内容に変更をした。また、「書かない窓口」について先進自治体を視察し、運用方法についても検討を行った	
進捗状況	B	効果額	-									
令和7年												
住民窓口課	① より便利で快適な窓口サービスの調査・検討	・キャッシュレス決済のアンケート結果に基づき、さらなる普及を推進する。 ・窓口体制の改善に向け、調査・検討する。	調査・検討			実施					キャッシュレス決済を導入し、町公式LINE等を活用し普及を推進することができた。決済種別が増えた結果、窓口サービスの向上につながった	
進捗状況	B	効果額	-									
令和7年												

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度		スケジュール					5年間の総括	
				取組内容、到達目標（数値目標）		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年		
1 1 2	収納サービスの拡充	収納課	① 電子決済の導入	・引き続き、共通納税システムを利用した収納方法について、周知していく。			調査・調整・実施					<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度広報3月号から毎年、共通納税システムを利用した収納方法について周知を行った。 令和6年度広報4月号から毎年、スマホ決済での納付方法変更お知らせを掲載した
1 1 3	外国人住民への支援・サービスの充実	企画政策課	① 多国語対応の充実、外国語対応システムの導入	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度に引き続き国による「行政窓口等に対する通訳支援」を実施し、積極的な活用を職員に促す。 各課にヒアリングし、更なる多言語対応の充実に向けた検討、調整を図る。 	調査・研究		実施					行政窓口等に対する通訳支援制度を広く職員に周知することで、窓口での外国語対応の円滑化に努めた。また、町ホームページの掲載内容の見直しや翻訳サービスの利用促進を図り、他言語の方にも伝わりやすい情報発信を図った
1 1 3	外国人住民への支援・サービスの充実	総務課	② 公共施設における外国人にやさしい案内方法の検討	<ul style="list-style-type: none"> 他市町や先進自治体等への調査を実施し、外国人にやさしい案内方法の検討を行う 	調査・検討		実施					他市町や先進自治体等への調査を実施し、外国人にやさしい案内方法の検討を行った。窓口へのコミュニケーションボードの設置や案内板でのピクトグラムの使用など、外国人にも分かりやすいように工夫した
1 1 4	資源化の推進	環境課	① いちはら資源回収エコーステーションの開所	<ul style="list-style-type: none"> 適正な管理運営を行う 	設置・運営		運営					家庭から出る草木を持ち込める施設として運営を行った。いちはら資源回収エコーステーションの稼働により、家庭から出る草木を回収し、資源化することにより、住民のリサイクル意識の向上及び利便性の増加、リサイクル率の向上に大きく寄与した

2 町民の健康増進

進捗状況 A：目標を上回る B：目標どおり C：目標にやや遅れる D：目標に遅れる

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度		スケジュール					5年間の総括	
				取組内容、到達目標（数値目標）	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年			
1 2 1	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施	保険医療課	① 後期高齢者健診の推進	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年6月～9月に健診を実施 町内11医療機関での個別健診、保健センターでの集団健診に加え、人間ドック（費用助成）を実施する 目標受診率 63.1% 					実施		<ul style="list-style-type: none"> 令和7年6月～9月に、町内11医療機関での個別健診と、保健センターでの集団健診を実施した。 令和7年6月～9月に、人間ドック医療費助成を行った。 受診者数：4,175人（+98人） 受診率：62.8%（+0.1%） 	<p>目標達成には至っていないものの、県内でも高い受診率を維持している。</p> <p>令和7年度より人間ドック費用の助成を開始した。今後も人間ドック助成事業の啓発および健診未受診者への勧奨を継続して行い、目標の達成を目指す</p>
			進捗状況	C	効果額	-						
			② 後期高齢者重症化予防への取組	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度の健診結果に基づき、糖尿病性腎症が疑われる医療未受診者に対し、受診勧奨や保健指導を引き続き実施する 後期高齢者は「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施」の取組の一つとして、フレイル予防も含めた保健指導を実施する 目標：介入率100% 				実施		<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度の健診結果に基づき、糖尿病性腎症が疑われる医療未受診者に対し、受診勧奨や保健指導を実施した。 後期高齢者は「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施」の取組の一つとして実施を継続 対象者：2人（国保1人、後期1人） 介入率：100%（国保1人、後期1人） 治療開始率：確認中 	<ul style="list-style-type: none"> 対象者への介入率は目標を達成している。 令和8年度の健診結果に基づき、糖尿病性腎症が疑われる医療未受診者に対し、受診勧奨や保健指導を実施した。 後期高齢者は「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施」の取組の一つとして、フレイル予防も含めた保健指導を実施した 	
進捗状況	B	効果額	-									
			③ 一体的実施に関する検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> 福祉課・健康課・地域包括支援センター等の関係機関と連携し、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施の事業を継続実施する ハイリスクアプローチ（低栄養・口腔機能向上対策、服薬指導、重症化予防対策）とポピュレーションアプローチ（通いの場におけるフレイル予防講座）を実施する 目標：介入率100% 	実施方法の検討				調査研究・実施		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業（低栄養対策、口腔機能向上対策、生活習慣病重症化予防対策、糖尿病性腎症重症化予防事業、サロンでの低栄養・オーラルフレイル講話）を継続実施した。 〈ハイリスクアプローチ〉 対象者への介入率（通知発送）100% 継続支援を希望したものへの介入率：100%〈ポピュレーションアプローチ〉 サロンでの健康講話実施率：100%（14会場） 	<ul style="list-style-type: none"> 介入率は目標を達成している。 初回支援時に継続支援を希望しなかった人へのアウトリーチ方法について検討する必要がある。 福祉課・健康課・地域包括支援センター等の関係機関と連携し、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施の事業を継続実施した。 ハイリスクアプローチ（低栄養・口腔機能向上対策、服薬指導、重症化予防対策）とポピュレーションアプローチ（通いの場におけるフレイル予防講座）を実施した
									進捗状況	B	効果額	-

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度		スケジュール					5年間の総括		
				取組内容、到達目標（数値目標）	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年				
1 2 1	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施	福祉課	① 憩いのサロンの活用	<ul style="list-style-type: none"> <地域介護予防活動支援> ・高齢者の個々の状態に合った介護予防が地域で行えるよう、憩いのサロン・体操サロン等の介護予防の普及・啓発を行う ・第9期介護保険事業計画に基づき、介護予防事業の推進を図る ・町からの送付物にサロン参加を促すチラシの同封を図る ・チェックインシステムに改修を行い、会場への導入を目指す。 					実施			<ul style="list-style-type: none"> ・憩いのサロンの開催回数、延べ参加人数は目標を達成できていない。コロナ禍以降、開催回数・参加人数がもどらない状況である。ニュースポーツやeスポーツ体験会を開催し、新たな参加者を呼び込む試みを行って少しずつ参加人数は増加している。今後も立ち上げからサロンを支えていただいている先生方との協議会や、運営ボランティアとの協議会にて、より多くの方に参加いただけるよう対策を進めていく必要がある 	
			② フレイル予防の推進	<ul style="list-style-type: none"> <地域づくりによる介護予防の推進> ・リハビリテーション専門職と連携し、フレイル予防に関する基本的な知識や予防に効果的な運動等で多くの方が関心を持って継続的に参加・実施できる予防事業を継続実施する。 					実施				<ul style="list-style-type: none"> フレイル予防トレーニングは延べ33回開催、306人の参加者、介護予防教室は延べ12回開催、222人の参加者が集まった。ピラティスを基にしたストレッチ体操や、柔道整復師による正しい歩き方や骨盤底筋群の体操を行った。
			③ 一体的実施に関する検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> <関係機関との連携> ・保険医療課の主導のもと、健康課・地域包括支援センター等と連携し、ハイリスク者等への訪問やポピュレーションアプローチとして健康講話を実施する等、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業を継続実施する。 	実施方法の検討				調査研究・実施				
進捗状況	B	効果額	-										
進捗状況	B	効果額	-										
1 2 2	健康づくりの推進	健康課	① あおば健診の継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・あおば健診対象年齢のうち、18歳と20・25・30・35歳に個別通知する。 ・あおば健診の受診者増加のため、SNSや行政情報放映などを使用して積極的に周知を実施する。 ・予約方法については、電話に加えて、インターネット・LINE経由でもできるように継続する。 ・要指導者に対し、電話による個別指導を実施し、若年のうちからの健康行動につなげる。 					実施			<ul style="list-style-type: none"> 個別通知やSNS等での周知を継続し、予約にLINE・インターネットを導入したことで利便性が向上し、若年層の健康づくりの増進に寄与した 	
進捗状況	B	効果額	-										

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度				スケジュール				5年間の総括
				取組内容、到達目標（数値目標）				令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
1 2 2	健康づくりの推進	健康課	② がん検診の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・がんの早期発見・早期治療につながるよう、要精密検査未受診者への受診勧奨を行う。 ・受診者増加のため、医療機関での個別がん検診（乳がん・子宮頸がん検診）を通年で受診できるようにする。 また、乳がん・子宮頸がんの集団検診においては電話に加えインターネット・LINE経由の予約受付も追加する。 ・集団検診の周知について、従来の告知に加えて、SNSや行政情報放映などを使って積極的に行い、受診者数前年度比増を目指す（子宮頸がん：30%、乳がん：15%の増） 				実施	→		<ul style="list-style-type: none"> ・要精密検査者数のうち未受診者は85名に受診勧奨ハガキを送付した。 ・医療機関での個別がん検診受診者数は、子宮頸がん：116名（R8.2実績）（R6年度比+6名）、乳がん：131名（R8.2実績）（R6年度比+3名）と微増した。 	
					進捗状況	B	効果額	-				
					5年間の総括							
		生涯学習スポーツ課（スポーツ）	① 屋内温水プール施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・取組終了 	実施					→		<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力を活用し、DB0事業者により屋内温水プール施設を整備した ・施設の運用開始に向け、条例・規則の制定を行った
					進捗状況	-	効果額	-				
					5年間の総括							
		生涯学習スポーツ課（スポーツ）	② 屋内温水プール施設の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・町内小学校の水泳授業を継続して実施する ・健康増進のための憩いの場として、多くの人に利用してもらえよう、維持管理・運営業務を行う 				実施	→		<ul style="list-style-type: none"> ・予定通り町内4小学校の水泳授業を実施し、小学校プールの集約化を行った ・町内高齢者に対する温浴施設利用助成事業を実施し、外出の機会の創出、健康増進の場の提供を行った。 ・民間活力を活用し、DB0事業者による維持管理、運営業務を実施した 	
					進捗状況	B	効果額	-				
					5年間の総括							
生涯学習スポーツ課（スポーツ）	③ 周辺施設との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の効率的な運営ができているか、モニタリングを継続して実施する ・屋内温水プールから地域交流施設までの芝生広場の一体的な利用について、施設間で協議し、構想を立てる 	活用方法の検討			実施	→		<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理、運営に対するモニタリングを実施した（月次、四半期次、年次） ・定例協議会を実施し、事業者と情報共有を行った ・地域交流施設との一体的利用については、実施に至っていない。実現可能な内容を施設間で協議する必要がある 			
			進捗状況	C	効果額	-						
			5年間の総括									

3 地域コミュニティの充実

進捗状況 A：目標を上回る B：目標どおり C：目標にやや遅れる D：目標に遅れる

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度		スケジュール					5年間の総括	
				取組内容、到達目標（数値目標）	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年			
131	町内交通利便性の向上	防災交通課	①	バスルート及び停留所位置等の見直し及び運行 ・令和5年度実施の利用者アンケート及び令和6年度実施の住民アンケートに引き続き、住民ワークショップを実施し、公共交通の利用状況や意向・要望等を把握し、今後の見直しに向けた検討や次期地域公共交通計画の策定に向けて取り組む。	協議・検討				実施			・利用者アンケート、住民アンケート、住民ワークショップを通してみえてきた課題をとりまとめ、令和8年度に次期地域公共交通計画を見直し、バスルート及び停留所位置の改善を目指していく。
			進捗状況	B	効果額	-						
131	町内交通利便性の向上	防災交通課	②	民間情報検索サービスの活用 ・サービスの活用を継続するとともに、適宜情報を更新する。					実施			・時刻表等が検索できる民間の情報検索サービスの活用をすることで、鉄道への乗継も含めた目的地までの情報を提供できた。
			進捗状況	B	効果額	-						
132	協働推進	企画政策課	①	協働のまちづくりマスター養成講座の開催 より幅広い年代にリーチできる講座を開催し、協働のまちづくりに対する町民の機運を高めていく。 また、提案型協働事業交付金を利用する団体等が派生できるような講座の内容を検討していく 目標参加者数：100名（累計）					実施（3年を目安に内容の見直し）			新型コロナウイルス感染症対策期間中は、開催方法をオンラインとする必要があり、効果的な実施ができず参加者が伸び悩んでいたものの、コロナ禍以降、年々参加住民を増やすことができた。 また、若年層を対象としたユースアクションを開催し、新たな年齢層に対するアプローチを行うことができた
進捗状況	B	効果額	-									

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度		スケジュール					5年間の総括	
				取組内容、到達目標（数値目標）		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年		
1 3 2	協働推進	企画政策課	② 提案型協働事業交付金制度の実施	引き続き交付金の活用を考える団体が気軽に相談できる体制の構築に努める。 協働のまちづくり連続講座と連携し、交付金の活用を目指す団体等の掘り起こしに努める。 令和8年度採択目標件数：4件					実施（必要に応じて見直し・改正）			以前は申請団体が、年間2～3団体だったものの、事前相談からの丁寧な協議により、初動支援団体としての申請につなげることができ、申請団体の増加につなげることができている
									進捗状況	A	効果額	
1 3 3	地域の活性化	企画政策課	③ 協働のまちづくり懇談会の開催	引き続き提案型協働事業交付金制度への意見を求める等、協働事業の情報共有等に努める。 情報共有の回数：1回以上				実施	実施			定期的に提案型協働事業交付金制度や審査員等の見直しについて協議を行うことで、協働事業の体制確立を図った。 また、地域団体の活動状況に関する情報共有を行い、社会資源の把握に努めた
									進捗状況	B	効果額	
1 3 3	地域の活性化	企画政策課	① 地域活動推進交付金の交付・見直し	取組終了（R7より事業は総務課へ移管）				実施	実施			・より使いやすい制度となるように令和7年度より、総務課に移管した ・自治区への委託料（均等割）に交付金分を上乗せし、より使いやすい制度とした
									進捗状況	B	効果額	
1 3 3	地域の活性化	産業課	① 農業用水路等維持管理活動団体（保全会）の新メンバーの加入推進	・農業者等に対し、加入促進を図る。 保全会活動の担い手の確保に努め、活動の促進を図る				実施	実施			・農業者等に対し、加入促進を図る。保全会活動の担い手の確保に努め、活動の促進を図った
									進捗状況	B	効果額	

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度				スケジュール				5年間の総括	
				取組内容、到達目標（数値目標）				令和3年	令和4年	令和5年	令和6年		令和7年
1 3 4	地域 支援 の 充 実	福祉課	① 医療・介護連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き多職種研修会を実施し、医療・介護関係者の連携に資する研修を実施する。 医療・介護関係者の情報共有支援のため、ゆめたろうネットの利用促進を職種ごとに実施する。令和7年度は他の職種から連携の要望が多い薬剤師に対して操作説明等通じて利用促進を目指す。 広報・HPや福寿大学、住民向け健診などでも引き続き事業の普及啓発を実施し、いざという時に適正なサービスを利用できるシステムを構築する。 				実施					<ul style="list-style-type: none"> 事業所アンケートから本事業により医療介護連携は概ね推進できた。しかし、十分な連携推進にまで至っていないため、今後は事業の深化推進を目標に実施する 医療介護連携にあたり急変時の場面での課題を感じる事業がほとんどであり、ACPの推進は全世代への啓発を継続して実施する必要がある 担い手不足があるなか、利用者から事業従事者へのハラスメント行為による離職を防ぎ、適正なサービス提供を継続させるため、利用者やその家族へのハラスメント防止啓発を継続して実施する
			② 認知症予防への取組	<ul style="list-style-type: none"> 認知症に関する正しい知識と共に「新しい認知症観」を周知していく。 認知症介護家族の集い、認知症カフェを引き続き定期開催する。認知症に優しいカフェ協力店舗についての検討を進める。 迷い人の搜索訓練に代わり、地区に根差した認知症の人への気づきと対応の方法を検討していく。 認知症サポーターの勉強会開催を通して、R8年度の本格的活動に向けた、活躍の場作りの準備を進める。 				実施・検討					<ul style="list-style-type: none"> 「新しい認知症観」の普及・啓発活動は地道に継続していく 認知症介護者の集い「たまりん」、認知症カフェ「あれあれモーニング」を定期開催できているので、目標達成できている 大足区の住民向けにR7年度は講義、実施訓練が開催され、R8年度も継続して行う予定 認知症サポーター養成講座は、年々受講者数が伸びてきているので、計画を上回る
			③ 生活支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 移動支援事業を2地区で実施 第2層協議体（2圏域）設置 				実施					
										進捗状況	B	効果額	-
										進捗状況	B	効果額	-
										進捗状況	C	効果額	-

II 業務の効率化・適正化

1 事務事業の見直し

進捗状況 A：目標を上回る B：目標どおり C：目標にやや遅れる D：目標に遅れる

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度		スケジュール					5年間の総括
				取組内容、到達目標（数値目標）	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年		
211	入札・契約制度の見直し	総務課	① 入札制度全般の点検と見直し	・公平公正な入札執行及び契約を保つため、国県及び近隣市町村の動向を注視し、入札制度全般の点検及び見直し等を実施する				実施	→		・法改正等に伴うもののほか国、県及び近隣市町村の動向を調査しながら週休2日制の実施や町内事業者の受注機会の確保等の見直しを実施した
			進捗状況	B	効果額	-					
211	入札・契約制度の見直し	総務課	② 物品の電子入札の拡充	・オープンカウンタを拡大していくために、職員へ周知を図る ・毎年度、5件程度のオープンカウンタを実施する				実施	→		5年間の平均実施数は4.8件/年であり、目標には達しなかった。今後も職員への案内や周知を行っていく
			進捗状況	C	効果額	-					
212	の行政手続きにおける書面規制・押印・対面規制	総務課	① 対象業務の抽出・取組実施	・書面規制の見直しとして、行政手続等の様式の簡素化や添付書類の削減の調査を進める ・対面規制の見直しとして、書類の提出等を対面に限定してないかの調査を進める ・要綱等の新規制定や改正等があった際に不要な書面規制及び対面規制の規定がなされていないかの確認及び見直しを行う	調査・集計			実施	→		条例や規則、要綱等の新規制定や改正等があった際に不要な書面規制及び対面規制の規定がなされていないかを確認し、その都度見直しを図った。
			進捗状況	B	効果額	-					
212	の行政手続きにおける書面規制・押印・対面規制	総務課	② 先進団体等への調査・研究	・愛知県行政文書管理規程の実施内容を調査するとともに、対応できる部分に関しては武豊町においても実施していく				実施	→		・愛知県行政文書管理規程の実施内容を調査するとともに、押印廃止など対応できる部分に関しては武豊町においても実施した。
			進捗状況	B	効果額	-					

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度				スケジュール				5年間の総括	
				取組内容、到達目標（数値目標）				令和3年	令和4年	令和5年	令和6年		令和7年
2 1 3	民間活用	子育て支援課	① 児童館への導入	・引き続き児童館の指定管理者制度の導入について、実績のある市町の調査を実施し、更に導入検討を進める。	調査・検討				実施				現在の児童館における課題の整理や、民間活用（指定管理・委託・民営）による費用面の試算等により検討を深めた
									進捗状況	C	効果額	-	
		② 児童クラブへの導入	・引き続き児童クラブの指定管理者制度等の導入について、実績のある市町の調査を継続実施する。また、民間事業者による事業参入については、更に参入が促進されるよう検討を進める。	実施				実施				待機児童が発生している小学校区に、民間の児童クラブが設立または設立予定であり、待機児童解消に向けた取組を進めることができた	
		上下水道課	① 窓口業務包括的民間委託の実施	・サービス向上、費用削減、安定した業務継続のため、料金徴収等窓口業務の包括的民間委託を継続し、モニタリングを適正に実施する	実施				実施				・サービス向上、費用削減、安定した業務継続のため、料金徴収等窓口業務の包括的民間委託を継続、さらに業務内容を拡充した。また、委託業務の適切な履行のため、適宜モニタリングを実施することができた
										進捗状況	B	効果額	-

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度				スケジュール				5年間の総括
				取組内容、到達目標（数値目標）				令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
2 1 3	民間活用	上下水道課	② 施設点検管理業務委託の実施	<ul style="list-style-type: none"> 安定したサービスと事業の継続、業務の効率化を図るため、水道施設・下水道施設の保守点検や維持管理等個別業務委託を継続し、モニタリングを適正に実施する 				実施	→		<ul style="list-style-type: none"> 上下水道施設の保守点検や維持管理に係る業務を委託し、施設の状態を監視することで、施設の健全性を常に維持することができた 	
			進捗状況		B	効果額	-					
		③ 民間活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> 給水申込・排水設備申請に係る窓口業務の委託を引き続き実施し、合わせて下水道の接続推進業務の一部を委託にて実施する 更なるサービス向上・業務効率化・費用削減を図るため、新たな民間活用を検討する 			検討・実施	→		<ul style="list-style-type: none"> 給水申込・排水設備申請・下水道接続推進など委託業務の拡充を行い、労働力の不足に対応することができた 更なるサービス向上・業務効率化・費用削減を図るため、新たな民間活用を検討することができた 			
進捗状況	B	効果額	-									
2 1 4	広域連携	上下水道課	① 指定管理者制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> サービス向上及び安定した事業の継続のため、指定管理業務委託を継続実施する（スポーツ施設指定管理者更新、CCNCプール継続） CCNCプールたけとよの指定管理業務が適正に行われているか確認するため、モニタリング業務委託を継続して実施する 				実施	→		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理業務委託を実施し、施設の利用者サービス向上及び安定した事業継続に努めた モニタリング業務委託及び定期的な打合せ等により、指定管理業務が適切に行われているか確認を行った 	
			進捗状況	B	効果額	-						
		① 検討会議への参加	<ul style="list-style-type: none"> 広域連携に関する検討会や研修等に参加する 			実施	→		<ul style="list-style-type: none"> 近隣市町等による広域連携に関する検討会や研修等に参加、情報収集により、広域連携に関する知見を広めることができた 			
進捗状況	B	効果額	-									

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度				スケジュール				5年間の総括
				取組内容、到達目標（数値目標）				令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
214	広域連携	上下水道課	② 施設・業務共同化の検討	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、指定工事店指定事務等の共同化を実施する 新たな広域化・共同化の実施を検討する 		検討			実施	→		<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度より名古屋市をはじめとする他市町との指定工事店指定事務などの共同化を開始し、事務の効率化を図ることができた
			進捗状況		B	効果額	-					
214	広域連携	上下水道課	③ 共同汚泥処理事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、衣浦西部浄化センターにおいて、常滑市・東海市・知多市の汚泥を受け入れ、費用の削減をはかる 県全体での更なる共同汚泥処理事業の実施に向け、建設費等を負担するなど、事業を進めるように促す 				実施	→		<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度より衣浦西部浄化センターにおいて、常滑市・東海市・知多市の汚泥を受け入れ、費用の削減をはかることができた 更なる共同汚泥処理事業の拡充に向け、愛知県や他市町との連携を図ることができた 	
			進捗状況		B	効果額	-					
215	ふるさと納税制度の見直し	企画政策課・産業課	① 返礼品の見直し	<p>企画政策課</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在進めている新規の事業者及び返礼品について、早期に各種掲載サイトに掲載するよう事業者に働きかけ、登録を進める 引き続き、返礼品の拡充に向け、新たな事業者の開拓を行う PayPay商品券の導入・拡充を行う <p>産業課</p> <ul style="list-style-type: none"> 中小企業者等応援補助金の情報発信を強化するとともに、企画政策課と連携し、返礼品の品目拡充を図る。 				実施	→		<p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年々寄附金額が増加傾向にあり、5年前の令和2年度より約1.4倍に増加させることができた。 返礼品提供事業者も増やすことが出来、多くの事業者に協力を得られながら本事業を進めることができています。 <p>【産業課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中小企業者等応援補助金の情報発信を強化するとともに、企画政策課と連携し、返礼品の品目拡充を図った 	
			進捗状況		B	効果額	-					

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度		スケジュール					5年間の総括	
				取組内容、到達目標（数値目標）		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年		
216	各種補助金の見直し	補助金所管課	① 団体補助対象事業の精査	産業課 ・継続的に補助団体へのヒアリングを実施し、適正な補助金活用となるよう調整を図る 中央公民館・歴史民資料館 ・団体補助対象事業内容の精査	調査・研究		実施					【産業課】 ・継続的に補助団体へのヒアリングを実施し、適正な補助金活用となるよう調整を図る 【中央公民館】 ・補助対象事業を精査し、補助要件および必要な補助対象の拡充を行った
					進捗状況	B	効果額	-				

2 ICTの活用

進捗状況 A：目標を上回る B：目標どおり C：目標にやや遅れる D：目標に遅れる

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度		スケジュール					5年間の総括	
				取組内容、到達目標（数値目標）		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年		
221	AI・OCR等のICT活用	総務課	① 音声認識ソフトの導入	・取組終了	調査・研究・実施							令和4年度に、企画政策課にて音声認識ソフト（Amivoice）を導入し、議事録等の作成に活用している
					進捗状況	-	効果額	-				
221	AI・OCR等のICT活用	企画政策課	① AI-OCRの導入	・今後職員への更なる周知を図り、AI-OCRを活用する業務を増やす。	実施							ICT利活用の推進に向け、AI-OCRを導入し全庁的な周知と活用拡大を図った。5年間で計39件の帳票に適用し、多部署での活用が定着した。特にRPAと連携させる際の前工程としてAI-OCRを活用し、手書き書類のデータ化から自動処理までを円滑につなげることで、入力業務の効率を大幅に向上させた。多様な業務でのデジタル化が実現し、さらなる効率性の高い行政運営の基盤を構築した
					進捗状況	B	効果額	-				

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度		スケジュール					5年間の総括					
				取組内容、到達目標（数値目標）		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年						
2 2 2	小中学校における教育のICT活用に向けた環境整備	学校教育課	① ICT支援員による授業支援	・6校に支援員3名配置、各校週2回配置を継続・ICT活用授業支援（機器準備・管理準備等）を継続・必要に応じ職員向け各種研修会等を実施	→	実施	→	→	→	→	→	・6校に支援員3名を配置し、各校週2回の支援体制を継続した。ICT活用授業のための機器準備・管理支援も引き続き行い、円滑な授業運営を支えた。また、必要に応じて職員向け研修会を実施し、教職員のICT活用能力向上に努めた				
													進捗状況	B	効果額	-
			② 端末・LAN回線の保守	・引き続きLAN保守や端末保守、MDMによる遠隔及びオンサイトサポートを継続する	→	実施	→	→	→	→	→		→	→	・LAN環境の安定運用および端末の適切な管理を目的として、LAN保守ならびに端末保守を継続的に実施。加えて、MDMを活用した遠隔サポートおよび必要に応じたオンサイトサポートを組み合わせることで、迅速かつ効率的なトラブル対応と端末管理を実現している	
																進捗状況
			③ 校務支援システムのセンターサーバ化	・センターサーバ化を継続実施し、校務系システムのセキュリティ性を高める	→	実施	→	→	→	→	→		→	→		・センターサーバ化の継続的な実施により、校務系システムのセキュリティ強化を図ることができた

Ⅲ 持続可能な行政運営

1 健全な財政基盤の構築

進捗状況 A：目標を上回る B：目標どおり C：目標にやや遅れる D：目標に遅れる

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度		スケジュール					5年間の総括	
				取組内容、到達目標（数値目標）		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年		
3 1 1	計画的な財政運営	総務課	① 財政調整基金の確保	引き続き必要な事業の精査、取捨選択を行うことで、財政調整基金の残高を意識した予算編成を行う。	→	実施	→	→	→	→	→	各課等における事業の選別また、予算査定時に事業の精査、取捨選択を行うことで、適切な財政調整基金残高を確保した

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度		スケジュール					5年間の総括		
				取組内容、到達目標（数値目標）		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年			
3 1 1	計画的な財政運営	総務課	② 補助金等の有効活用	令和7年度における新規事業や、令和8年度予算編成時においても、引き続き、国県補助金の有無を確認、また財政担当においても情報収集を行い、適切な財源確保に努める					実施	→			プラン期間中、予算編成時において、国県補助金の有無を確認し、また財政担当においても情報収集を行い、適切な財源の確保を実施した
								進捗状況	B	効果額	-		
		③ 財務書類を活用した健全性の確立	令和6年度において、財務書類の活用ができなかったため、令和7年度においては、予算編成や地方債管理において、財務書類をどのように活用できるか研究し、町の現状を分析し、効率的な財政運営を行う			分析			実施	→			財務書類について、予算編成等への活用を検討したが、現状において直接活用することは難しいと判断した。しかしながら、決算における負債の割合等が確認できるなど、現在の財政状況を振り返ることは可能であるため、今後も活用できる項目を研究し効率的な財政運営を行っていく
		保険医療課	① 国民健康保険税の適正化	・事業費納付金、基金残高の状況、標準保険税率等を踏まえ、令和8年度からの保険税率を検討する。					実施	→			・事業費納付金、基金残高の状況、標準保険税率等を踏まえ、県が進めている保険料水準の統一も念頭に置きながら適切な税率設定に努めた。
3 1 2	受益と負担の適正化	総務課・生涯学習スポーツ課	① 使用料の見直し	・現在の使用料を継続し、利用者の声を記録する ・令和8年度の使用料改定に向け、使用料適正化の検討をする					継続	→			【総務課】 ・検討を重ねた結果、改定は行っていない。令和5年度に改定した基本指針に則り、令和2年改定の使用料を継続している 【スポーツ】 ・使用料改定の検討を行ったが、改定に至っていない ・適正な使用料の設定方法について、検討を行う必要がある 【中央公民館】 ・すべての施設において増額の対象となり、受益者負担の適正化から見直しの必要性があったが、使用料改定は見送られる結果となった 【町民会館】 ・3年ごとの使用料改定に向けて、利用者の意見や、近隣施設の動向、社会情勢などを踏まえて、使用料の適正化を検討している
										進捗状況	C	効果額	-

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度		スケジュール					5年間の総括			
				取組内容、到達目標（数値目標）	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年					
3 1 2	受益と負担の適正化	総務課・生涯学習スポーツ課	② 減免制度の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 現状の減免基準を継続し、利用者の声を記録する 引き続き減免制度の調査研究を行う 	調査・検討	実施						<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に改定した基本指針に則り、使用料及び利用料の減免を行い、利用者の負担軽減をはかった <p>【中央公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用目的が異なる施設間で減免基準を統一化することは困難なため、現況に合わせた基準で継続することとした <p>【町民会館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たに減免を申請される場合は、慎重に検討を重ね、またすでに減免で開催されている事業等については見直しを行った。また、各減免対象ごとの利用状況を鑑み、制度の調査・見直しを行っている 		
										進捗状況	B		効果額	-
3 1 3	財源の確保	企画政策課	① 有料広告事業の活用	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、SNSで広告募集を行うとともに、各広告媒体ごとに広告効果が高められるよう、広告の掲載位置の検討を進め、広告申込の増加に繋げる 指定管理施設（体育館、交流センター）の広告掲載要綱・要領を改正する 役場1フロビーの展示棚での広告募集について検討を進める 			実施						<p>ごみ袋、体育館談話室など、5年の間に広告掲載媒体を増加させ、健全な財政基盤の構築に努めることができた</p> <p>安定した広告申込数だったが、申込事業者が毎年同じ事業者の方が多く、新規事業者が少なかった。令和6年度、7年度にはSNSによる広告募集を行い、町外の企業にも広くアプローチすることができた</p> <p>引き続き、SNSで広告募集を行うとともに、各広告媒体ごとに広告効果が高められるよう、広告の掲載位置の検討を進め、広告申込の増加に繋げる</p>	
										進捗状況	B	効果額		1,515,000
			② ネーミングライツの導入	<ul style="list-style-type: none"> 屋内温水プールの各種印刷物への愛称の表示や企業ブースの運営等について、必要に応じて契約者・施設担当課・施設指定管理者と調整を行う R9年度当初予算要求までに、屋内温水プールの次期契約（R10年～R14予定）について現契約者と調整を行う。必要に応じて、次期契約者募集（R9年度）の検討を行う 他の施設へのネーミングライツを導入するか、調査研究を進める 	調査		実施	実施						<p>計画期間内に、屋内温水プールのネーミングライツパートナーの募集及び決定まで行うことができた</p> <p>屋内温水プール以外の施設もネーミングライツパートナーを募集できるよう、ネーミングライツパートナー募集要領を修正し、R8年5月から募集を開始する予定</p>
							進捗状況	B	効果額	506,000円/年				

2 安定的なサービス提供体制の確立

進捗状況 A：目標を上回る B：目標どおり C：目標にやや遅れる D：目標に遅れる

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度		スケジュール					5年間の総括
				取組内容、到達目標（数値目標）	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年		
321	経常的経費の節減の徹底	総務課	① 公共施設等総合管理計画の推進	引き続き公共施設の建設状況や長寿命化計画の策定等に注視し、職員に向けた公共施設等総合管理計画の運用周知を行っていく。	調査・作成実施					令和5年度に公共施設等総合管理計画を改定した。改定後についても毎年職員向けに研修を行いPDCAサイクルの徹底に努めた	
					進捗状況	B	効果額	-			
322	機構改革	秘書広報課	① 組織改編の検討	引き続き、組織改編について検討を行う。	調査・検討					5年間において、より効果的、効率的に全庁的な業務を遂行できるよう、組織の新設等を行った。特に令和8年度から新体制となるよう、令和7年度中に見直しを行った。見直しの内容として、健康福祉部を保険福祉部とこども未来部に、企画部を政策推進部に、政策推進部内を経営戦略課、DX推進課、人事秘書課とし、町として目指す方向に進めるよう組織改編を行った	
					進捗状況	A	効果額	-			
323	全体最適化に向けた定員管理	秘書広報課	① 適正な定員管理	定員管理計画に基づき、定員の適正化を実施する。	実施					毎年度各所属にヒアリングを実施し、その時々業務量を鑑み、適正な定員管理を実施した	
					進捗状況	B	効果額	-			
323	全体最適化に向けた定員管理	秘書広報課	② 職員採用	説明会及びインターンシップを継続して実施し、人材確保に繋がるよう努める。 オンラインでの説明会も併せて実施する。 採用試験の実施時期及び内容を適宜見直す。 大学訪問や説明会を通してPRし、より多くの方に受験してもらえよう努める。 行政職向けの採用動画を製作・配信し、PRに繋げる。	実施					これまでの採用パンフレットに加え、大学の採用担当や学生との意見交換の中で、より効果的な方法としてオンライン説明会、動画による採用PR等を行った。また採用試験の回数を増やし、受験者数の確保に繋げた	
					進捗状況	B	効果額	-			

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度				スケジュール				5年間の総括		
				取組内容、到達目標（数値目標）				令和3年	令和4年	令和5年	令和6年		令和7年	
324	個別計画に基づく計画的な改修	子育て支援課	① （個別）計画に基づく施設の整備（東大高保育園）	取組完了	基本設計		実施設計	新築工事					出生数や保育需要の変化を見極め、統廃合も検討し、当該施設を完工した。計画期間であった5年間に社会情勢等も変わり、未満児等の需要が当初より増えて来ている傾向と思われる。今後の情勢に注視しながら、次のアクションプランに反映していく必要があると考える。	
										進捗状況	—	効果額	—	
		都市計画課	① 長寿命化に基づく施設の改修（町営住宅）	・計画的に長寿命化工事を行うことで、老朽化する町営住宅の長寿命化を図る				実施			実施工事なし			A棟（令和2年度）B棟C棟D棟の屋上防水工事、A棟の外壁改修工事、B棟外壁改修工事設計委託、町営住宅耐力調査業務委託等を行い、町営住宅の長寿命化を図った。
											進捗状況	C	効果額	—
		学校教育課	① 長寿命化に基づく施設の改修（小中学校）	・長寿命化計画に基づき、改修工事及び改修工事の設計業務を実施する（富貴中学校南館昇降口及び木工室防水改修工事、衣浦小学校トイレ改修工事設計業務）				実施					・計画的な改修工事を実施し、施設の劣化が著しい部分を優先的に改修した。また、設計段階での検討により、改修後の安全性と機能性を確保することができた。	
		生涯学習スポーツ課	① 長寿命化に基づく施設の改修（総合体育館等）	長寿命化計画に基づき、引き続き改修を進める ・運動公園、総合体育館キュービクル更新工事設計業務委託 ・総合体育館第1競技場天井等非構造部材改修工事 ・総合体育館第1競技場空調設備改修工事				実施					・長寿命化計画に基づき、施設の改修工事を実施した ・長寿命化計画を改定し、施設の改修スケジュールの見直しを行った ・スケジュールから遅れる改修工事について、早期の実施を目指す	
										進捗状況	B	効果額	—	

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度				スケジュール				5年間の総括
				取組内容、到達目標（数値目標）				令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
325	公共施設の跡地利用	環境課	① 組合施設の解体工事（クリーンセンター常武）	・資源回収エコステーションの開所 ・リユースステーションの整備		調査・検討	組合解散	実施		→		常滑武豊衛生組合は令和5年度末をもって解散。施設の解体工事も終了した。組合施設の跡地利用として、令和6年度にきたやま資源回収エコステーションを整備、令和7年度には組合の旧管理棟を改修し、リユースステーションとして整備を進めた
			進捗状況	B	効果額	—						
325	福祉課	①	老人福祉センターの解体、跡地利用の検討	・取組終了		解体・利用検討	解体			→		老人福祉センター解体工事および跡地舗装工事を令和5年度に完了した。今度は、武豊町自然公園の駐車場の一部として、跡地の活用を図る
			進捗状況	—	効果額	—						
326	未・有効活用	土木課	① 土地開発基金所有地の売却・貸付	土地開発基金所有地の売却や貸付を促進する。				実施		→		土地開発基金所有地の貸付を行った。（一年あたりの貸付額合計） R3年度 1,499,342円 R4年度 1,071,642円 R5年度 1,052,224円 R6年度 878,744円 R7年度 1,318,090円
			進捗状況	B	効果額	¥1,318,090						
327	事業経営の安定化	上下水道課	① 経営戦略の進捗管理	・中長期的な収入と支出のバランスを考慮した「経営戦略（水道事業ビジョン・下水道事業経営戦略）」に基づいた経営を行っていく。「経営戦略」は毎年度進捗管理を実施し、収益の増加と費用の削減を意識した予算の編成と適正執行に努める ・水道事業ビジョンを改定し、健全経営を図る				実施	改定	→		・時勢に沿った計画とするため、令和6年度に下水道事業経営戦略、令和7年度に水道事業ビジョンを改定、また、毎年度適切に進捗管理をすることにより健全経営に努めることができた
			進捗状況	B	効果額	—						
			② 組織体制の安定化	・知識や技術の継承・共有のため、研修等に積極的に参加する	実施	継続実施	→		・知識や技術の継承・共有のため、研修等に積極的に参加した	・研修等に職員が積極的に参加し、知識や技術の継承、個々の職員の能力向上を図ることができた		
進捗状況	B	効果額	—									
327	施設・設備投資の最適化	③	施設・設備投資の最適化	・アセットマネジメント計画、ストックマネジメント計画に基づき、施設・設備投資の最適化を図る ・水道管路のダウンサイジングの検討結果に基づき、基幹管路の更新工事を実施する				検討・実施	→		・水道事業のアセットマネジメント計画を改定、下水道事業のストックマネジメント計画を策定し、計画的な施設の維持管理を図ることができた ・上下水道施設の計画的な更新工事を実施することができた	
				進捗状況	B	効果額	—					

3 人材育成

進捗状況 A：目標を上回る B：目標どおり C：目標にやや遅れる D：目標に遅れる

番号	取組項目	事業所 管課	実施項目	令和7年度		スケジュール					5年間の総括	
				取組内容、到達目標（数値目標）	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年			
3 3 1	職員研修の充実	秘書広報課	① ヒアリングの実施	・職員にヒアリングし、研修内容の検討を行う	分析・準備				実施			研修の希望として挙げたものについて研修計画に反映した
			進捗状況	B	効果額	—						
			② 研修の実施	・職場改善、能力向上を目的とし、時代に合った研修を実施する。 ・令和7年度は企画力アップ研修実施予定。				実施			人材育成基本方針をもとに必要な研修の実施及び研修効果の高い講師の選定等により、受講者の満足度が高く、人材育成につながる研修を実施することができた	
			進捗状況	B	効果額	—						